

高野新聞

Vol.81



たかの
高野 たけし

無所属 43歳

遠子市議会議員（4期）

- ・総務常任委員会委員長
- ・基地対策特別委員会委員
- ・議会運営委員会委員
- ・議会活性化推進協議会委員

高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

12月3日～17日の日程で、平成27年第4回定例会が開催されました。今定例会においても市民の皆様から頂いたご意見、ご要望をもとに一般質問を行いました。（以下に一部掲載）

◆民間委託等ロードマップが改訂

【図書館運営事業】

この事業に関しては、平成26年第1回定例会に指定管理を行うための条例案が議会に提案され否決となった経緯があります。しかしながら、新たに作成された「第二期民間委託等ロードマップ」にも対象事業として取り上げられ、指定管理での運営を目指す方針が示されています。そこで、なおも指定管理者制度の導入を目指すのはなぜか、指定管理に運営をシフトする意義について質したところ、市民協働型の運営を目指すための手段であるとの回答が市長よりありました。

また、平成24年度に公表された「第一期民間委託等ロードマップ」では、委託した結果、年間の運営費が約2千万円増額する見込みとなっていたが、「第二期民間委託等ロードマップ」では委託することで約50万円の減額となるのはなぜかと質したところ、以前は営利目的の民間事業者を想定して委託後の運営費を算出していたものを、今回市が筆頭株主を務める株式会社パブリックサービスに指定管理することを想定して作成したため、コストの圧縮を図ることができたとの回答が市長よりあったところです。

【小学校給食調理業務】

正規職員の退職者不補充に伴い委託化を進めるのであれば、そのプロセスを中長期計画に落とし込んで示すべき旨提言したところ、将来の見通しを立てながら、必要に応じて委託化に向けた計画を作成していくとの回答が教育部長よりありました。

今後当該事業の委託化を進めるにしても、給食の提供に支障が出ないことはもちろん、職員に混乱が生じることが無いよう留意した上で対応していただくことを望んでいます。

政治資金の残り

あと12,182円

(9/1～11/30の内訳)

支出…ポスター掲示用両面テープ	5,013円
ポスター掲示用広報版	8,442円
ポスター掲示用結束バンド	1,350円

◆市民目線での事業査定がスタート

今年度からはじまった「市民による事務事業の点検」では95の事業が対象となりました。この内、8事業で廃止の意見が、54事業で要改善の意見が出されたため、事業査定等を通じてこれらの意見はどのように反映されたのか質したところ、廃止の意見が出たもののうち、1事業は廃止、2事業は改善、1事業は来年度再検討、4事業は現行通りとし、改善の意見が出たもののうち、22事業は所管内で意見を踏まえて対応、10事業は改善、7事業は来年度再検討、15事業は現行通りとしたとの回答が経営企画部長よりありました。

また、今回の事務事業点検の結果がどのように反映されたのか知りたいとの声も参加者からあったことを受け、市民に対して公表の準備はあるのか質したところ、経営企画部長より市のHP等を通じて結果を公表していくとの回答がありました。そこで、事業の改善を行った結果の効果についても次年度以降検証し、それについても市民、議会に示して頂きたい旨要請したところです。

今年度の点検プロセスを踏まえ、次年度以降より良い制度となることを期待しています。

「市民による事務事業点検」

無作為抽出で選ばれた市民委員に対象事業を「廃止」、「要改善」、「現行どおり」に仕分けしてもらう制度。4年間で全ての対象事業をチェックしてもらうことになっており、今年が第1回目の開催。

◆時流に合わせた制度変更を求める

ゴミの減量化・資源化を目的に平成8年度に生ごみ処理容器の購入費助成制度が開始されましたが、普及が進んだ今も要綱（年に1度であれば何度でも助成可能）の変更を行っておらず、今年度の当初予算682万5千円では足りず331万5千円の補正予算が組まれたことから要綱の見直しを求めました。これに対して環境都市部長からは、市の現状を勘案するとともに、他の自治体の条例等も参考に検討していくとの回答がありました。

視察報告 ～まちぶらプロジェクト～

総務常任委員会の視察で、長崎県の長崎市へ行ってきました。

長崎市では陸の玄関口である長崎駅周辺と海の玄関口である松が枝周辺の整備に合わせて、歴史的な文化や伝統に培われた長崎の中心部である「まちなか」の賑わい再生を目的に進められている『まちぶらプロジェクト』を視察させていただきました。

『まちぶらプロジェクト』では「まちなか」を5つの区分に分け、各エリアが持つ特色を活かしながらエリア内の魅力の向上と発信を市民、団体、事業者、行政などが協力して行っています。商店街の皆さんが出演したプロモーションビデオを撮影しYouTube等を使って発信したり、伝統料理の料理教室を開催したり、商店街の店主が講師となって専門的な知識や情報を伝える「まちゼミ」を開催するなど、アイデアいっぱいのイベントが各種行われているそうです。

また、地元の学生が中心となって、雨の日でも楽しめる「おすすめスポット」や「雨の日限定のおもてなし」店舗の紹介をする小冊子を作成・配布するなど、様々なジャンルの情報小冊子が無料で配布されており、地域密着のガイドブックとなっています。

中島川・寺町界隈に残る町屋めぐりなど、趣向凝らしたマップが色々



そして、トイレに対する取り組みに力を入れている団体もあり、まちかどトイレの改修を行政とともに進めている他、トイレを一般に貸し出してくれる協力店舗を探したり、まちかどトイレにまつわる情報紙を発行するなど、まちに来てくれた人達がトイレで困らないようにする活動を行っているそうです。

トイレにまつわる記事が盛り沢山の「トイレタイムス」



長崎市は観光資源が豊富であるため、観光客に対するホスピタリティーが高く、そのベースは本市の市民協働のまちづくりにも非常に参考となるものでした。

どーなっているの？

市民の皆様からいただいたご意見、ご要望にお答えするコーナーです。

桜山地域のあるゴミステーションでは有料化が始まった10月1日以降、収集日とは違う日に燃やすゴミが出されていることが多く、カラスの被害を防ぐため近所に住む方がご自宅で保管することも度々あるとのこと。相談を受けてクリーンセンターに連絡したところ、保管して下さっていたゴミに関してはすぐに引き取りに来てくれましたが今後も同様の事が懸念されるため、パッカー車が通る際などに当該ステーションをチェックしてほしい旨要請したところでした。

また、10月1日から変更になった事項を詳細に把握できていない事から起きている事案もあると考え、変更点の周知を引き続き行うよう環境都市部に提言させていただきました。

制度の変更から2ヶ月半、新たなルールへの浸透に向け行政当局にはさらにご尽力いただきたいと思います。同時にマナーを守って利用する事が私達利用者の責務であるとも考えます。

【回収されず保管されたゴミ】



Topics ～ふるさと納税～

今年の4月から「ふるさと納税」による税額控除額の上限が拡大される等と同時に手続きの簡素化が進んだことを受け、本市においても積極的にふるさと納税を活用するよう平成27年第2回定例会で提案しました。

その結果、今定例会で市への寄付金の使い道を寄付する者が指定できる「ふるさと基金」を設置する条例が制定されることとなりました。また、返礼品の贈呈においても平成28年度中の開始に向け調整していくとの報告がありました。

あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。

送付先

Tel / Fax: 046-871-7368 E-mail: takano_zushi@yahoo.co.jp